

事業実施主体名:地域活性化協議会瀬戸内ユニオン

令和8年 7月 24日 作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業)	備考
岡山県 瀬戸内市	令和3年度	食事と体験メニューを磨き上げ、宿泊を伴う滞在型観光を創生する。 また、人材の育成を通じて農泊コンテンツのPRを行い、地域の魅力を 高めて交流人口を増やす。	

(注)※1には、別表に記載の内容から該当するものを転記すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・早期に事業を開始し、OTA登録済の宿泊施設を中心に利用者を伸ばし、雇用した人材を中核法人コーディネーターとして受け入れる体制の整備を行った。しかしながら、売上高と延べ宿泊者数ともに目標に大幅に届いていないため、低調と評価する。 ・受入体制は整いつつあるが、宿泊客が地域体験や特産品購入に結びつく仕組みづくりを進め、売上向上につなげること。 ・OTA掲載だけでなく、継続的な情報発信や旅マエの情報提供を通じて滞在時間の延長を促すとともに、満足度向上に結びつけ、再訪促進を図ること。 ・協議会ホームページ等において宿泊や体験予約の案内や予約の一元化を図ること。 ・自然環境、地域資源に恵まれているが、それらを上手に活かされていないことから、地域の魅力や独自性を活かすこと。 ・構成員の連携を密にすることで、お互いの強みを活かし合える部分が見えてくるので、構成員間の話し合いを十分に行うこと。 ・事業のマネジメントに専念できるスタッフの採用と育成による体制の再構築を図ること。 ・宿泊者は何処で、何を求めているかを見極めることが大切であり、宿泊者のニーズの把握に努めること。

2. 低調と評価された要因

・「売上高」及び「宿泊者数」が目標を下回る結果となったため。
--

3. 目標達成に向けた方策

・役場との連携により新たな地域事業者との協力体制が生まれた。また、多度津高等学校との連携体制が構築され、オリジナルおにぎりの開発も行われた。 ・ホームページでの告知や観光キャンペーンでのチラシ配布を実施し、取組のPRを行った。

4. 改善状況

・売上高及び延べ宿泊者数は前年度から大きく増加し、地域資源を活用した取組による波及効果も見られた。今後は、さらなる地域資源を活用したコンテンツの充実を図り、継続的な誘客につなげられたい。 〈事業実績〉 売上額 目標18,210,000円 R7実績15,000,000円(達成率82.4%)(b評価) R6実績8,250,000円 延べ宿泊者数 目標832人 R7実績655人(達成率78.7%)(b評価) R6実績100人
--

事業実施主体名:特定非営利活動法人RIVER

令和8年7月24日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(施設整備事業)	備考
高知県 四万十町	令和5年度	空き家を改修し、交流の場として活用する。	-

(注)※1には、別表に記載の内容から該当するものを転記すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・令和5年度に宿泊施設の改修工事を完了している。別途実施したソフト事業において体験プログラムの造成に取り組んだものの、宿泊施設の目標が大幅に達成されなかったため、低調と評価する。ハードが完成してからの事業展開が重要であり、今後の事業を着実に進めてほしい。

・継続して毎月体験プログラムを開催できる仕組みを構築できたことは、稼働率の安定化、リピーター育成の基盤、地域の受入体制強化の面からも重要である。また、体験プログラムの参加者が地域住民を先生として地域を学ぶストーリーは、コアな体験として地域を体感できる魅力に繋がるため、コンテンツの磨き上げに向けて工夫すること。

・なお、地域住民を先生とすることは良いことだが、後々、後継者問題や雇用不足が発生するので、将来を見据え、他の地域からの協力、応援についても検討を行うこと。

・集客・販売に向けて、情報発信や営業活動に加え、未稼働日の施設利用プランの拡充が有効である(現在は1棟貸しの施設利用や定例プログラム以外の特別授業を実施しているが、それ以外の利用方法を含む)。日帰り体験を含む教育旅行の受入れや、企業のキャリア研修・福利厚生の場としての活用など、多様な施設利用機会の創出に向けた実証活動を行うこと。

・何度でも訪れてもらえる四万十ファン(関係人口)を増やし、将来的に移住者につなげられるように、SNSなど、情報発信の工夫を行うこと。

2. 低調と評価された要因

・「売上高」が目標を下回る結果となったため。

3. 目標達成に向けた方策

・令和7年度は、分校ゼミを毎月開催し、安定した集客体制を構築することができた。協議会メンバーを中心に地域住民が「先生」役となり参画することで、地域内の合意形成の推進を図った。また、企業研修や大学ゼミの研修の場としても活用し、分校ゼミ以外の用途による施設利用も拡大している。

4. 改善状況

・昨年度から売上・延べ宿泊者数ともに大きく増加したが、目標には届かなかった。企業研修や大学ゼミの受入れなど、分校ゼミ以外の利用を積極的に行い、目標達成に向けて着実に推進されたい。

〈事業実績〉

売上額 目標18,000,000円 R7実績8,000,000円(達成率44.4%)(c評価) R6実績2,860,000円
延べ宿泊者数 目標600人 R7実績500人(達成率83.3%)(b評価) R6実績253人